

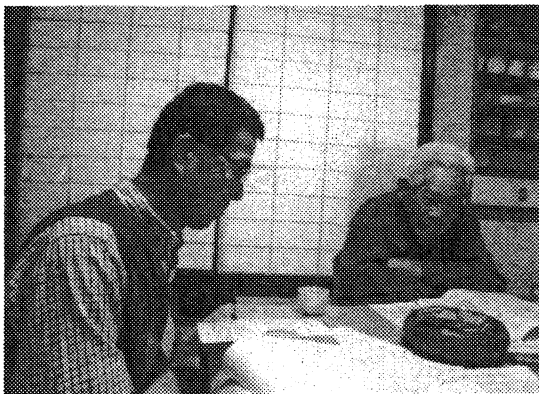
禰原二神系譜は300年前に遡る 庄屋職を歴任、元文年間の墓石を確認

今年の総会で重点系譜調査は高知県高岡郡禰原町上本村に藩政時代から居住する「禰原二神系譜」と決められていましたが、このほど同系譜に対する聞き取り調査とフィールド調査が第一次(11月7日)と二次(11月20日)の二回に渡り実施され、その結果、元文年間(1736～1741)の墓石を発見、禰原での二神氏の存在が庄屋職で300年前まで遡ることが判明しました。

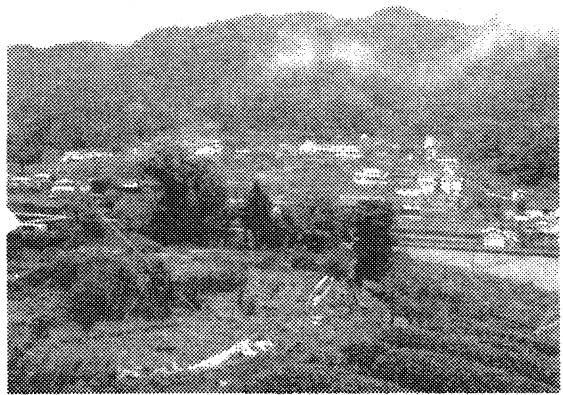
出自はこれまでのところ未確認

禰原二神系譜は高知県高岡郡禰原町上本村に江戸中期から庄屋職として居住してきた系譜と云われます。初代二神尉右衛門が禰原にやってきたのはこれまでの調査によると江戸中期頃と見られますが、出自はこれまでのところ未確認です。

11月7日に実施された第一次調査では現在禰原町上本村にお住まいの二神辰男氏(76)を訪問。聞き取り調査から開始されました。禰原二神系譜が住み着いている禰原町上本村は村の中心を禰原川が東西に流れ左右の山肌に沿って村が広がっています。二神辰男氏が居住されている地区には現在三軒の二神氏が軒を連ねていますが整理上この二神氏を上本村南斜面にあることから「南禰原二神氏」と呼びます。



右の二神辰男氏(76)からお話を聞く



北禰原二神氏が居住した地区

北禰原二神氏は町外に転居

禰原二神系譜にはこの「南禰原二神氏」の他に禰原川を挟み対面する「北禰原二神氏」の存在が確認されていますが、この系譜が初めて禰原にやってきた宗家と見られ、初代二神尉右衛門の系譜です。しかし「北禰原二神氏」は現在禰原町上本村にお住まいではなく同系譜を受け継ぐご子孫は高知市と須崎市に移住をしておられます。

第一次調査のこの日はあいにくの雨の中での調査となったため聞き取り調査の他、「南禰原二神氏」の墓地のうち最古と見られる墓石の一部の確認を行いました。その結果、元文3年に没した二神喜衛門の存在が確認され、少なくとも江戸中期にはこの地区に住んでいたことが判明しました。